

大学番号：私001

認可

[平成28年度設置]

計画の区分：研究科の設置

札幌国際大学大学院 スポーツ健康指導研究科

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人札幌国際大学
平成29年5月1日現在

目次

スポーツ健康指導研究科

＜スポーツ健康指導専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	8
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	12
6. 留意事項等に対する履行状況等	16
7. その他全般的事項	19

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人札幌国際大学

(2) 大学名

札幌国際大学

(3) 大学の位置

〒004-8602

北海道札幌市清田区清田4条1丁目4番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ウエノ ハチロウ) 上野 八郎 (平成28年4月1日)		
学長	(コシヅカ ムネタカ) 越塚 宗孝 (平成26年4月1日)		
研究科長	(クニタ ケンジ) 国田 賢治 (平成28年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
スポーツ健康指導研究科 スポーツ健康指導専攻 (修士課程) 修士(スポーツ健康指導)	体育関係	2年	5人	10人	基礎となる学部等 スポーツ人間学部 スポーツ指導学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平均入学定員超過率		備考
	平成28年度	平成29年度	春季入学	その他の学期	
A 入学定員	人 5 (-) [-]	人 5 (-) [-]	1.20倍		春季とその他の学期合せて5名
志願者数	8 (-) [-]	0 (-) [-]	4 (-) [-]		
受験者数	8 (-) [-]	0 (-) [-]	4 (-) [-]		
合格者数	8 (-) [-]	0 (-) [-]	4 (-) [-]		
B 入学者数	8 (-) [-]	0 (-) [-]	4 (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.60	0.80			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	8 [-] (-)	0 [-] (-)	4 [-] (-)	[] ()	春季とその他の学期合せて5名
2 年次	/		8 [-] (-)	[] ()	
3 年次	/				
計	8 [-] (-)		12 [-] (-)		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	8人	0人	平成28年度	0人	0人		0.00 %
			平成29年度	0人	0人		
平成29年度 入学者	4人	0人	平成29年度	0人	0人		0.00 %
合計	12人	0人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<スポーツ健康指導研究科スポーツ健康指導専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
スポーツ健康基本科目	身体運動機能特論	1後	2			1						
	人体構造学特論	1後	2			1						
	健康社会学特論	1前	2				1					
	スポーツ栄養学特論	1前		2							兼1	集中
	健康運動学特論	1後		2							兼1	集中
	運動発達特論	1前		2			1					
	健康体力特論	1後		2		1						
	人間学特論	1前		2		1						
	解析統計学特論	1後		2		1						
スポーツ健康指導科目	コーチング特論	1前	2			2		1				オムニバス
	健康教育特論	1後	2				1					
	保健体育科教育特論	2後		2		1					兼1	オムニバス 補充が必要とされたな当該授業科目に専任及び兼任追加(29) 〔担当 城後豊(教授) 平成28年8月 教員審査済 判定可〕
	地域調査法	1後		2							兼1	
	健康施策特論	2後		2							兼1	集中
	キャリア形成特論	1後		2			1					
	身体運動指導演習	1前		2		1	1					
	体力評価演習	1後		2		1						
	運動技術演習	2前		2		1	1	1				オムニバス
	高齢者スポーツ演習	1後		2		1	1					集中
	ジュニアスポーツ演習	1前		2			1	1				集中
	健康増進プログラム演習	1前		2			1					
	キャリア形成演習	2前		2			1					
演習科目	スポーツ健康テーマ演習Ⅰ	1前・後	2			4	3	1				オムニバス
	スポーツ健康テーマ演習Ⅱ	1前・後	2			4	3	1				オムニバス
	課題研究Ⅰ	2前・後	2			2 -4	1 -3	1				履修希望者がいなかったため(29)
	課題研究Ⅱ	2前・後	2			2 -4	1 -3	1				履修希望者がいなかったため(29)

- (注)
- ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 9	科目 17	科目	科目 26	科目 9 [0]	科目 17 [0]	科目 []	科目 26 [0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{26} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	札幌国際大学短期大 学部(必要面積3,800 ㎡)と共用 隣接する都市計画道 路事業との取り合い にて売却(29)			
	校舎敷地	0㎡	57,706㎡ 57,810㎡	0㎡	57,706㎡ 57,810㎡				
	運動場用地	0㎡	31,881㎡	0㎡	31,881㎡				
	小 計	0㎡	89,587㎡ 89,691㎡	0㎡	89,587㎡ 89,691㎡				
	そ の 他	0㎡	1,922㎡	0㎡	1,922㎡				
	合 計	0㎡	91,509㎡ 91,613㎡	0㎡	91,509㎡ 91,613㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	札幌国際大学短期大 学部(必要面積4,100 ㎡)と共用 使途変更(29)			
		5,580㎡ 6,064㎡	44,407㎡ 43,871㎡	1,282㎡ 1,334㎡	51,269㎡				
(3) 教 室 等	講 義 室	29室	演 習 室 33室 30室	実験実習室 13室	情報処理学習施設 6室 7室 (補助職員 1人)	語学学習施設 4室 (補助職員 1人)	大学全体 アクティブラーニン グルーム等への使途 変更(29)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		平成29年9月専任教員1 名を新規採用のため (29)			
	スポーツ健康指導研究科			9 8 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分 図書 2,443冊 2,234冊[91冊] 共用図書増加分は新 規購入のため(29)	
	スポーツ健康指 導研究科	401 [50] 400 [50] (401 [50]) (-259 [49])	4,026 [4,026] 4,068 [4,068] 4,026 [4,026] 4,155 [4,155]	4,024 [4,024] 4,066 [4,066] 4,024 [4,024] 4,153 [4,153]	5 (5)	25 (15)	0 (0)	8,351種 和雑誌7,685種のうち 8,343種 7,677冊は電子ジャー ナル 和雑誌増加分は、 データベースに収録 されている雑誌タイ トル数増加のため (29)	
	計	401 [50] 400 [50] (401 [50]) (-259 [49])	4,026 [4,026] 4,068 [4,068] 4,026 [4,026] 4,155 [4,155]	4,024 [4,024] 4,066 [4,066] 4,024 [4,024] 4,153 [4,153]	5 (5)	25 (15)	0 (0)	電子ジャーナルはい ずれもデータベース (国内2、外国3)に収 録されているもの 学術雑誌減少分は、 データベースに収録 されている雑誌タイ トル数減少のため (29)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 レイアウト変更によ る(29)		
	2,789㎡		326 342		208,750				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体 前回報告時記入漏れ (29)		
	7,074㎡		野球場1面、弓道場1面、テニスコート4面、グランド1面						
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 費 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	決算の確定による。 (29)
		教員1人当り研究費等	200千円	200千円	図書購入費	669千円 650千円	4,271千円 4,483千円	3,951千円 4,213千円	
	共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	20,826千円	6,174千円	— 千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		700千円	700千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入 等							

- (注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	札幌国際大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定学員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年	設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
人文学部										
現代文化学科	4	60	-	240	学士 (人文学)	0.28	平成15年度		北海道札幌市清田区清田4条1丁目4番1号	
心理学科	4	120	-	480						
臨床心理専攻	4	70	-	280	学士 (人文学)	0.64	平成15年度		同上	
子ども心理専攻	4	50	-	200	学士 (教育学)	1.02	平成20年度		同上	
観光学部										
観光ビジネス学科	4	90	-	360	学士 (観光学)	0.70	平成21年度		同上	
国際観光学科	4	50	-	200	学士 (観光学)	0.14	平成21年度		同上	
スポーツ人間学部										
スポーツビジネス学科	4	60	-	240	学士 (スポーツビジネス)	0.67	平成21年度		同上	
スポーツ指導学科	4	60	-	240	学士 (スポーツ指導学)	1.16	平成21年度		同上	
大学の名称	札幌国際大学大学院									備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定学員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年	設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
観光学研究科	2	10	-	20	修士 (観光学)	0.15	平成13年度		北海道札幌市清田区清田4条1丁目4番1号	
観光学専攻										
心理学研究科	2	10	-	20	修士 (臨床心理)	0.55	平成17年度		同上	
臨床心理専攻										
スポーツ健康指導研究科	2	5	-	10	修士 (スポーツ健康指導)	1.20	平成28年度		同上	
スポーツ健康指導専攻										
大学の名称	札幌国際大学短期大学部									備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定学員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年	設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
総合生活キャリア学科	2	50	-	100	短期大学士 (総合生活)	1.26	昭和44年度		北海道札幌市清田区清田4条1丁目4番1号	
幼児教育保育学科	2	140	-	280	短期大学士 (幼児教育)	0.85	昭和44年度		同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<スポーツ健康指導研究科 スポーツ健康指導専攻>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専	教授	国田 賢治	平成28年4月	身体運動機能特論 コーチング特論 身体運動指導演習 運動技術演習 高齢者スポーツ演習 ｽﾌﾟｰﾂ健康ﾃｰﾏ演習Ⅰ ｽﾌﾟｰﾂ健康ﾃｰﾏ演習Ⅱ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ						
専	教授	安積 順一	平成28年4月	人体構造特論 ｽﾌﾟｰﾂ健康ﾃｰﾏ演習Ⅰ ｽﾌﾟｰﾂ健康ﾃｰﾏ演習Ⅱ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ						
専	教授	小林 秀紹	平成28年4月	健康体力特論 解析統計学演習 コーチング特論 体力評価演習 ｽﾌﾟｰﾂ健康ﾃｰﾏ演習Ⅰ ｽﾌﾟｰﾂ健康ﾃｰﾏ演習Ⅱ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ						
専	教授	水野 浩二	平成28年4月	人間学特論 ｽﾌﾟｰﾂ健康ﾃｰﾏ演習Ⅰ ｽﾌﾟｰﾂ健康ﾃｰﾏ演習Ⅱ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ						
					専任	教授	城後 豊	平成29年9月	保健体育科教育特論	平成28年8月 A C教員審査済み(29)
専	准教授	関 憲治	平成28年4月	キャリア形成特論 キャリア形成演習 ｽﾌﾟｰﾂ健康ﾃｰﾏ演習Ⅰ ｽﾌﾟｰﾂ健康ﾃｰﾏ演習Ⅱ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ						
専	准教授	清田 岳臣	平成28年4月	運動発達特論 身体運動指導演習 運動技術演習 ｼﾞｬｽﾌﾟｰﾂ演習 ｽﾌﾟｰﾂ健康ﾃｰﾏ演習Ⅰ ｽﾌﾟｰﾂ健康ﾃｰﾏ演習Ⅱ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ						
専	准教授	後藤 ゆり	平成28年4月	健康社会学特論 健康教育特論 高齢者スポーツ演習 健康増進ﾌﾞﾛｸﾞ演習 ｽﾌﾟｰﾂ健康ﾃｰﾏ演習Ⅰ ｽﾌﾟｰﾂ健康ﾃｰﾏ演習Ⅱ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ						
専	講師	阿南 浩司	平成28年4月	コーチング特論 運動技術演習 ｼﾞｬｽﾌﾟｰﾂ演習 ｽﾌﾟｰﾂ健康ﾃｰﾏ演習Ⅰ ｽﾌﾟｰﾂ健康ﾃｰﾏ演習Ⅱ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ						
兼任	講師	小松 信隆	平成28年4月	スポーツ栄養学特論						
兼任	講師	藤原 勝夫	平成28年4月	健康運動学特論						
兼任	講師	玉城 英彦	平成29年4月	健康施策特論						
兼任	講師	森 雅人	平成28年4月	地域調査法						
					兼任	講師	亀崎 路子	平成29年9月	保健体育科教育特論	オムニバスのため担当者追加(29)

- (注)
- ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**, 当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し, 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A C教員審査)を受けてください。**A C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(A C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」, 変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお, 設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は, 「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由, 変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
4	3	4
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
4	3	1	0	8	5	3	1	0	9	5	3	1	0	9
(4)	(3)	(1)	(0)	(8)						[1]	[0]	[0]	[0]	[1]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				
7	1	0		7	1	1		7	1	1				
(7)	(1)	(0)						[0]	[0]	[1]				

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
68	2	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	教授	◎◎ ◎◎	必修	○○概論	①	……………のため就任辞退 (27)				
			選択	◆◆基礎	②					
			必修	☆☆演習	③					
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため就任辞退 (29)				
			必修	▲▲実習	③					
			必修	◇◇特論	①					
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
該当なし	人	必修	○○	科目	必修	○○	科目	必修	○○	科目
		選択	○○	科目	選択	○○	科目	選択	○○	科目
		自由	○○	科目	自由	○○	科目	自由	○○	科目
		計	○○	科目	計	○○	科目	計	○○	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	◎◎ ◎◎	必修	○○概論	①	……………のため辞任 (27)				
			選択	◆◆基礎	②					
			必修	☆☆演習	③					
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため辞任 (29)				
			必修	▲▲実習	③					
			必修	◇◇特論	①					
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
該当なし	人	必修	○○	科目	必修	○○	科目	必修	○○	科目
		選択	○○	科目	選択	○○	科目	選択	○○	科目
		自由	○○	科目	自由	○○	科目	自由	○○	科目
		計	○○	科目	計	○○	科目	計	○○	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)		後任補充状況の集計 (B) + (D)								
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)				
該当なし	人	必修	○○	科目	必修	○○	科目	必修	○○	科目
		選択	○○	科目	選択	○○	科目	選択	○○	科目
		自由	○○	科目	自由	○○	科目	自由	○○	科目
		計	○○	科目	計	○○	科目	計	○○	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年5月)	1. 「保健体育科教育特論」の授業内容について、体育の内容の比重が大きく、保健の内容が極端に少なくなってしまうっており、また、「『授業とは、なぜに授業なのか』を探究しながら」との授業科目の概要の記載は、具体的でなく授業科目の概要が不明確であるため、適切な内容に改めること。その上で、当該内容を教育するに当たり適切な教員を配置すること。その際、一人の教員による担当ではなく、体育と保健それぞれを異なる教員がオムニバスで担当するなど、より適切な教員配置を検討すること。 2. 教員の補充を必要とされた1授業科目については、科目開講時まで確実に専任教員を配置して教員を充足すること。 3. 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	「保健体育科教育特論」について、以下の指摘にもとづき対応を行っている。指摘内容は、(1)体育の内容の比重が大きく、保健の内容が極端に少ないこと、(2)授業科目の概要の記載は、具体的でなく授業科目の概要が不明確であるため、適切な内容に改めることおよび、(3)当該内容を教育するにあたり、体育と保健それぞれを異なる教員がオムニバスで担当することであった。 この授業科目では、保健内容を充実した授業展開とし、それに沿って明確な内容となるよう、授業科目の概要およびシラバスを書き改めた。また、体育分野は専任教員で配置し、保健分野は非常勤講師で配置することとなっている。専任教員および非常勤講師の選定はすでに終了している。 添付資料：平成29年度実施予定のシラバス (28)	平成28年6月AC教員審査提出予定。(28) 平成28年6月AC教員審査提出済み。(29)
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	同一設置者が設置する既設学部等(人文学部現代文化学科、観光学部観光ビジネス学科、国際観光学科、スポーツ人間学部スポーツビジネス学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見 人文学部現代文化学科 平成29年度(2017年)募集より、入学定員を75名から60名に変更した。その結果、定員充足率は43%に回復した(入学者は26名)。学科の教育課程の中身を「歴史、文化、英語、メディア」の四つに絞って広報活動を行ったことが、功を奏したと考えている。 (29)	現在、教育課程自体の改定に取り組んでおり、より魅力的なカリキュラムを効果的な広報活動によって認知してもらい、定員充足率をさらに高めたいと考えている。 (29)

観光学部観光ビジネス学科	
平成29年度（2017年）募集において入学定員90名のところ67名の入学者があり、過去4年間の定員充足率平均は0.7倍となった。（29）	<p>今後は以下の対策を確実に実行し、さらに定員充足率を上昇させる計画である。</p> <p>①高校生のニーズを反映させたカリキュラム改善 ②専門科目だけでなく、共通科目も含めた”教育内容の深化“ ③女子を意識した魅力ある科目の構築 ④産学連携、高大接続の充実 ⑤学科の教育内容の発信：ネットの利用、観光フォーラム・観光セミナーの開催（29）</p>
観光学部国際観光学科	
平成29年度（2017年）募集より、入学定員を60名から50名に変更した。（29）	<p>定員充足率向上のため、以下の対策を着実に実行する。</p> <p>①改定後のディプロマ・ポリシーにふさわしい教育内容とするため、平成30年度入学生から海外での語学研修や国際理解を目的とした科目群を充実させた教育課程に変更する。 ②平成30年度から、海外の観光事情と英語を学ぶ「海外スタディ・ツアー」を1年次から開始する。 ③活力ある学科運営のために若手専任教員の採用を計画する。（29）</p>
スポーツ人間学部スポーツビジネス学科	
	<p>平成29年度入試に向けて教育課程の再編を行った。「健康運動」、「スポーツ健康ビジネス」および「スポーツ健康マネジメント」の三つの柱とした。さらに、これをもとに、オープンキャンパスや広報を通じて、教育課程の再編に関する周知を図った。その結果入学定員60名中58名の入学者数となり定員充足率96.6%の学生確保となった。これにより、定員充足率の平均は0.67倍まで上昇した。（29）</p>

（注）・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<スポーツ健康指導研究科 スポーツ健康指導専攻（M）>

（1）設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

（2）教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

教務部主導でFD活動が毎年全学的（大学・短期大学部合同）に開催されている。

添付資料：札幌国際大学FD委員会規程

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

教務部会内で定期的に行われる委員会に研究科の教員（基礎となる学部の教員と兼務）が参加している。

c 委員会の審議事項等

- ・ FD活動の企画立案
- ・ FD活動の実施計画の立案
- ・ FD活動の評価
- ・ FD活動に関する情報の収集と提供

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 本学の学生動向について
- ・ 授業改善のためのグループワーク
- ・ 教員相互の授業公開

b 実施方法

- ・ 本学の学生動向については、教務企画課長によるデータに基づく本学学生の入試、成績、中退等の動向調査の結果を講演形式で報告した。
- ・ 授業改善のためのグループワークは、参加者が事前に実習、演習、フィールドワーク、講義（共通科目）、講義（専門科目）のいずれか一つのテーマを選択した上で、テーマ毎にグループに分かれてディスカッションを行う。（ワークショップ形式）
- ・ 全教員を対象とする教員相互の授業公開は、事前に希望調査を行った上で公開授業の一覧を作成・発表し、相互参観する。後日、学科ごとに授業検討会を行い検討結果を教務部が集約している。研究科としての

検討会はまだ実施していないが、研究科の教員は学部の教員として参加し研鑽を積んでいる。

- ・平成28年度から「優秀授業実践教員表彰に関する規程」及び「教員の授業改善に関する規程」を制定し、授業評価の高い教員の授業は公開しFDの対象とする一方、授業評価の低い教員は関係者による授業参観及び参観者と被参観者との間の振り返りを経て、授業改善計画書を学長に提出することとした。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・学生動向報告とグループワークは平成28年度は8月1日開催。研究科の教員の約9割が参加した。
- ・教員相互の授業公開は平成28年12月2日から22日まで開催。研究科の全教員が参加した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・月1回開催されている研究科教員会議において、意見交流を行い、教育の質の向上に継続的に取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

研究科の学生に対する授業評価アンケートは、現在のところ実施していない。在籍者が少人数でも実施しやすい方法を検討して実施する予定。

b 教員や学生への公開状況、方法等

なし

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置認可申請時の設置の趣旨・目的に沿って、研究科の活動を行ってきている。活動状況は、月1回開催されている研究科教員会議において、意見交流を行い、確認している。おおむね、設置の趣旨・目的に沿った活動であると評価される。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成29年9月頃

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（平成29年9月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成29年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受ける予定

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有) ・ (無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成28年 6月 1日)